

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「ソフトバンク＆ＳＢＩグループ株式ファンド」は、2025年10月27日に第20期決算を行いました。

当ファンドは、ソフトバンク＆ＳＢＩグループ株式・マザーファンド受益証券を通じてわが国の金融商品取引所の上場株式のうちソフトバンクグループ株式会社、ＳＢＩホールディングス株式会社及びそれらのグループ関連企業の株式を主な投資対象として信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行いました。

ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

第20期末（2025年10月27日）

基準価額	37,279円
純資産総額	2,404百万円
第20期	
騰落率	54.8%
分配金（税込み）合計	0円

（注1）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

（注2）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

（注3）当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しています。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>
右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「当該ファンド」を選択 ⇒ 「目論見書・定期レポート等」を選択 ⇒ 「運用報告書（全体版）」より該当の決算期を選択ください。

ソフトバンク＆ ＳＢＩグループ 株式ファンド

特化型

追加型投信／国内／株式

交付運用報告書

第20期（決算日：2025年10月27日）

作成対象期間（2024年10月29日～2025年10月27日）

SBI Asset Management

ＳＢＩアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。
<https://www.sbiasset.co.jp/>

運用経過

基準価額等の推移

(2024年10月29日～2025年10月27日)



期 首：24,084円

期 末：37,279円 (既払分配金 (税込み)：0円)

騰落率： 54.8%

(注1) 当ファンドは、ソフトバンクグループ株式会社、ＳＢＩホールディングス株式会社及びそれらのグループ関連企業の株式（以下、「ソフトバンク＆ＳＢＩグループ株式」といいます。）に投資を行うという特色を持つファンドであり、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用していません。

(注2) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため、分配金再投資基準価額は記載していません。

○基準価額の主な変動要因

上昇要因

- ・国内企業業績の好調持続
- ・米国の消費者物価指数（CPI）の伸び鈍化による米国金融政策の緩和への期待
- ・賃上げ、インバウンドなど国内景気の好調持続
- ・新たな少額投資非課税制度（NISA）の開始

下落要因

- ・米国の関税問題のグローバルな企業活動への悪影響の増大
- ・米国のインフレ率高止まりによる米連邦準備制度理事会（FRB）の利下げ期待の後退
- ・中国景気の低迷による世界的な需要不足への懸念
- ・ウクライナ情勢、中東情勢の緊迫化により、リスク回避が強まったこと

1 万口当たりの費用明細

(2024年10月29日～2025年10月27日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 30	% 0.110	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(12)	(0.044)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(12)	(0.044)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(6)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	10	0.038	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(株 式)	(10)	(0.038)	※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) そ の 他 費 用	29	0.105	(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(10)	(0.036)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷)	(19)	(0.069)	開示資料等の作成・印刷費用等
合 計	69	0.253	
期中の平均基準価額は、27,625円です。			

(注 1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注 2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注 3) 項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

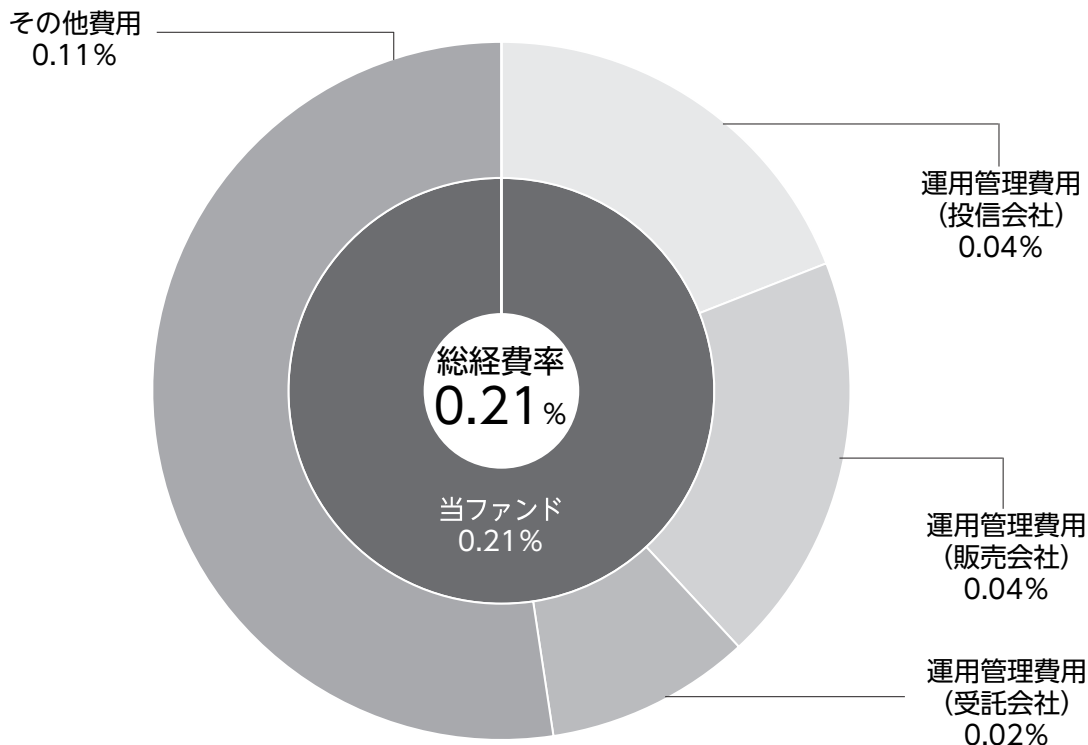
(注 4) 売買委託手数料及びその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注 5) 各比率は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.21％**です。



(注1) 上記費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近５年間の基準価額等の推移

(2020年10月27日～2025年10月27日)



(注1) 当ファンドは、ソフトバンク&ＳＢＩグループ株式に投資を行うという特色を持つファンドであり、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用していません。

(注2) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

	2020年10月27日 決算日	2021年10月27日 決算日	2022年10月27日 決算日	2023年10月27日 決算日	2024年10月28日 決算日	2025年10月27日 決算日
基準価額 (円)	18,062	20,226	17,370	18,643	24,084	37,279
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
基準価額騰落率 (%)	—	12.0	△ 14.1	7.3	29.2	54.8
純資産総額 (百万円)	1,042	1,095	930	924	1,190	2,404

(注1) 当ファンドは、ソフトバンク&ＳＢＩグループ株式に投資を行うという特色を持つファンドであり、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用していません。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

(注3) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

投資環境

(2024年10月29日～2025年10月27日)

当期の株式市場は、通期で上昇しました。当期の日経平均株価は38,100円近辺から始まり、2024年11月の米大統領選挙でトランプ氏が勝利するとともに、上下院とも共和党が過半数を獲得したことから、新政権への期待で米国株が上昇したことも、日本株の支援材料となり、年末には日経平均株価は40,000円を超える水準まで上昇しました。年明けには、日銀が金融政策の正常化のもと、利上げを実施し円高傾向となったことと、中国のAI企業「ディープシーク」が低コストのAIモデルを発表すると、これまでAI相場を牽引した半導体関連が下落し、上値の重い展開となりました。

2025年2月に入ると、米国のトランプ大統領がメキシコ、カナダ、中国に追加関税を課すとの政策を発表すると、日本株も大きく下落し、その後も関税問題が株価に大きな影響を与える相場展開となりました。その後、国内の賃上げの動きなど国内景気回復の動きと好調な企業業績に支えられ、3月末は38,000円台まで回復しました。しかし、4月2日にトランプ大統領が、相互関税、全世界一律10%、日本に対しては24%と発表すると、世界的なリスクオフの動きが強まり、日本株は大きく下落し、4月7日には31,000円割れとなりました。ただし、その直後に相互関税を90日間停止すると、大きくリバウンドし、回復基調に転じました。

7月にはトランプ関税の先行きへの不透明感が強まる中、20日の参議院選挙において与党が敗北し、市場の動揺も高まりましたが、直後の23日、日米関税交渉において、自動車を含め15%で合意したことが発表されると、ムードが一変、上昇基調を強めました。8月月初に発表された米国雇用統計は予想以上に悪化しましたが、今回の雇用統計の悪化は早期の利下げ再開につながるとの見方から冷静に受け止められ、実際にジャクソンホールでのパウエルFRB議長のハト派的な発言により、利下げ再開の期待が高まりました。9月に入ると石破首相の辞任発表による政局不安があったものの、米国の利下げ再開によるグローバルな株式市場の上昇と根強いAI関連への成長期待により、日経平均株価、TOPIXともに史上最高値を更新するなど、力強い上昇となりました。10月初旬の自民党総裁選で高市氏が新総裁に選出されると、新政権による財政出動の期待から一段高となり、日経平均株価は50,512.32円で期末を迎えました。

当ファンドのポートフォリオ

(2024年10月29日～2025年10月27日)

<当ファンド>

ソフトバンク＆ＳＢＩグループ株式・マザーファンド受益証券を高位に組入れて運用を行いました。

<ソフトバンク＆ＳＢＩグループ株式・マザーファンド>

ソフトバンクグループ、ＳＢＩホールディングス及びそれらのグループ関連企業の株式に投資することを運用目的としています。組入比率は、投資信託説明書（目論見書）に記載の通り、原則として、組入銘柄の時価総額に比例して決定し、3カ月ごとに組入比率の再調整を行いました。

当期の組入銘柄につきましては、LINEヤフーのウェイト上昇により、5%を上回る銘柄数が、従来の4銘柄から5銘柄に増加したことから、投資方針に基づき1銘柄の組入比率の上限を25%から20%に変更し、リバランスを実施しました。また、前期、今期予想が赤字になった出前館を、収益性の観点から売却しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2024年10月29日～2025年10月27日)

当ファンドは、ソフトバンク＆ＳＢＩグループ株式に投資を行うという特色を持つファンドであり、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用しておりません。

分配金

(2024年10月29日～2025年10月27日)

当期の収益分配金につきましては、運用の効率性等を勘案し、見送ることといたしました。

なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第20期
	2024年10月29日～ 2025年10月27日
当期分配金 (対基準価額比率)	— — %
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	27,278

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<当ファンド>

引き続き当ファンドの基本方針に基づき、ソフトバンク＆ＳＢＩグループ株式・マザーファンドを通じて、ソフトバンク＆ＳＢＩグループ株式に投資します。

<ソフトバンク＆ＳＢＩグループ株式・マザーファンド>

引き続きソフトバンクグループ株式会社、ＳＢＩホールディングス株式会社及びそれらのグループ関連企業の株式に投資します。組入比率は、投資信託説明書(目論見書)に記載の通り、原則として、組入銘柄の時価総額に比例(1銘柄の組入比率の上限は概ね20.0%)して決定し、3カ月ごとに組入比率の再調整を行います。

お知らせ

投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。
(変更適用日：2025年4月1日)

＜当該約款変更につきまして＞

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更され、書面交付またはデジタル交付いずれかを選択できるようになりました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全等、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。

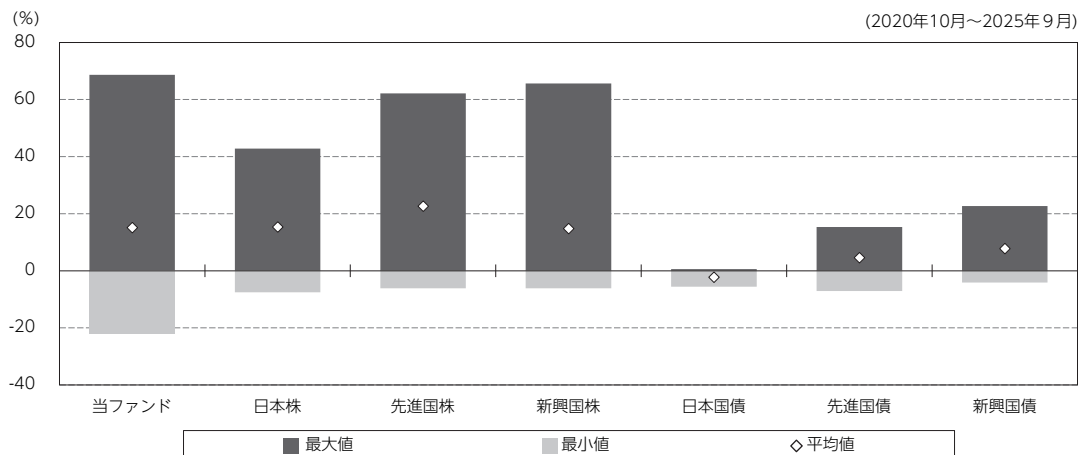
今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供ができるよう整備してまいります。

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／国内／株式	
信 託 期 間	原則として無期限（設定日：2005年10月28日）	
運 用 方 針	ソフトバンク＆ＳＢＩグループ株式・マザーファンド受益証券への投資を通じて、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド (ベビーファンド)	ソフトバンク＆ＳＢＩグループ株式・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。 なお、株式等に直接投資することもあります。
	マザーファンド	わが国の金融商品取引所の上場株式のうちソフトバンクグループ株式会社、ＳＢＩホールディングス株式会社及びそれらのグループ関連企業の株式を主な投資対象とします。
運 用 方 法	当ファンド (ベビーファンド)	主として、ソフトバンク＆ＳＢＩグループ株式・マザーファンド受益証券に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。 なお、マザーファンド受益証券の組入れ比率は、原則として高位を維持します。
	マザーファンド	ソフトバンクグループ株式会社、ＳＢＩホールディングス株式会社及びそれらのグループ関連企業の株式に投資します。組入比率は、原則として組入銘柄の時価総額に比例（１銘柄の組入比率の上限は概ね20.0%）して決定し、3カ月ごとに組入比率の再調整を行います。
分 配 方 針	毎決算時（毎年10月27日。ただし、休業日の場合は翌営業日。）に、原則として以下の方針に基づき、分配を行います。 経費控除後の配当等収益（繰越分及びマザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額（以下「みなし配当等収益」といいます。）を含みます。）及び売買益（評価益を含み、みなし配当等収益を控除して得た額）等の全額とします。委託会社が、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	68.6	42.8	62.2	65.6	0.6	15.3	22.7
最小値	△ 22.1	△ 7.5	△ 6.1	△ 6.1	△ 5.6	△ 7.1	△ 4.1
平均値	15.1	15.3	22.6	14.7	△ 2.3	4.6	7.8

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2020年10月から2025年9月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注3) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

《代表的な各資産クラスの指数》

日本株…Morningstar 日本株式指数

先進国株…Morningstar 先進国株式指数 (除く日本)

新興国株…Morningstar 新興国株式指数

日本国債…Morningstar 日本国債指数

先進国債…Morningstar グローバル国債指数 (除く日本)

新興国債…Morningstar 新興国ソブリン債指数

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、全て税引前利子・配当込み指数です。

*各指数についての説明は、P11の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2025年10月27日現在)

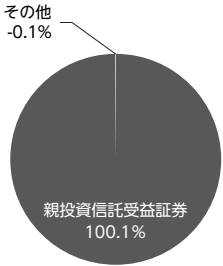
○組入上位ファンド

銘 柄 名	第20期末
	%
ソフトバンク＆ＳＢＩグループ株式・マザーファンド	100.1
組入銘柄数	1 銘柄

(注 1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注 2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

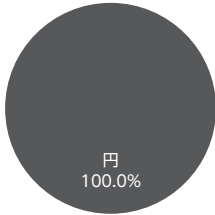
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注 1) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注 2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

純資産等

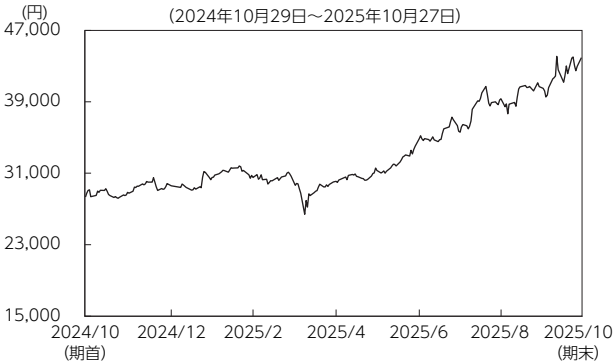
項 目	第20期末
	2025年10月27日
純 資 産 総 額	2,404,708,569円
受 益 権 総 口 数	645,063,859口
1 万口当たり基準価額	37,279円

(注) 期中における追加設定元本額は466,408,968円、同解約元本額は315,852,391円です。

組入上位ファンドの概要

ソフトバンク&ＳＢＩグループ株式・マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2024年10月29日～2025年10月27日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式)	12円 (12)	0.038% (0.038)
合計	12	0.038
平均基準価額は、32,533円です。		

(注) 上記項目の概要につきましては、P2をご参照ください。

【組入上位10銘柄】

(2025年10月27日現在)

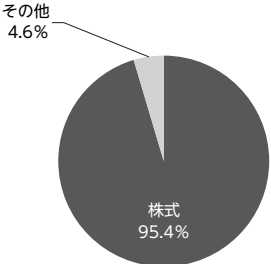
	銘柄名	業種／種別等	通貨	国(地域)	比率
					%
1	ソフトバンクグループ	情報・通信業	円	日本	19.7
2	LINEヤフー	情報・通信業	円	日本	19.5
3	ソフトバンク	情報・通信業	円	日本	19.3
4	ＳＢＩホールディングス	証券、商品先物取引業	円	日本	19.3
5	ZOZO	小売業	円	日本	13.1
6	アスクル	小売業	円	日本	1.4
7	ＳＢＩグローバルアセットマネジメント	サービス業	円	日本	0.7
8	ＳＢＩリーシングサービス	証券、商品先物取引業	円	日本	0.5
9	ＳＢＩアルヒ	其他金融業	円	日本	0.4
10	ＳＢＩインシュアランスグループ	保険業	円	日本	0.4
組入銘柄数			16 銘柄		

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しています。

(注3) 国(地域)につきましては発行国を表示しています。

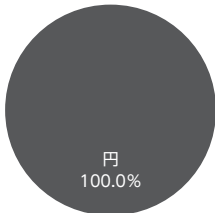
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 基準価額の推移、組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別のデータは2025年10月27日現在のものです。

(注2) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別配分につきましては発行国を表示しています。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

<各指数の概要>

- 日本株：Morningstar 日本株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。
- 先進国株：Morningstar 先進国株式指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。
- 新興国株：Morningstar 新興国株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。
- 日本国債：Morningstar 日本国債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。
- 先進国債：Morningstar グローバル国債指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。
- 新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、エマージング諸国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

<重要事項>

本ファンドは、Morningstar, Inc.、又はモーニングスター・ジャパン株式会社を含むMorningstar, Inc.が支配する会社（これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います）が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に本ファンドに投資することの当否、または本ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス（以下「Morningstarインデックス」と言います）の能力について、本ファンドの受益者又は公衆に対し、明示又は黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。本ファンドとの関連においては、委託会社とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマーク及びサービス名並びに特定のMorningstarインデックスの使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが委託会社又は本ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成又は算定を行うにあたり、委託会社又は本ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、本ファンドの基準価額及び設定金額あるいは本ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または本ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与していません。Morningstarグループは、本ファンドの運営管理、マーケティング又は売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータの正確性及び／又は完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、本ファンドの受益者又はユーザー、またはその他の人又は法人が、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータについて明示又は黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的又は使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害（逸失利益を含む）について、例えばこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。